

放射線技術科学科専門基礎科目・専門科目のコース構成

【R4カリキュラム】(R5以降入学生用)

| コースの名称 及びコースの説明 | 1年次 | | 2年次 | | 3年次 | | 4年次 | |
|--|---------------------|---|---|---|--|-----------------------|-------------|----|
| | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 |
| (1)医療の基礎コース 診療放射線技師に必要なリハビリテーションや公衆衛生的な観点及びメンタルヘルスについて学習する。 | | | | | 医科学総合科目Ⅱ | | | |
| | リハビリテーション概論 | 病原微生物と免疫 代謝生化学 薬理学 | 衛生・公衆衛生学 臨床心理 医科学総合科目Ⅰ バラスポーツ | | | | | |
| (2)基礎理工学コース 高度な技術への対応や診療機器の適切な取り扱い及び放射線の安全利用のために必要となる理工学的な基礎知識を習得する。 | 放射線物理学 | 応用数学 医用工学 計算機科学 放射化学 放射線生物学 | 医用工学実験 放射線科学実験 | | | | | |
| (3)実践画像医学コース 画像診断技術の習得に必要な基礎知識について学習する。 | 人体の構造と機能 | 健康障害の成り立ちⅠ 健康障害の成り立ちⅡ | 病態と画像Ⅰ | | 病態と画像Ⅱ | 画像医学 | | |
| (4)画像診断技術学コース 撮影技術の習得に必要な基礎知識について学習する。 | 医療と放射線技術 放射線医学概論 | | 診療画像機器学 診療画像機器学実験 超音波検査技術学 | X線検査技術学Ⅰ X線検査技術学Ⅱ 磁気共鳴診断画像技術学 超音波検査技術学実験 | 磁気共鳴診断画像技術学実習 X線検査技術学実習 救急検査・医療安全学 | ペイシエントケア論 | | |
| (5)核医学検査技術学コース 放射性同位元素による核医学の知識や技術について学習する。 | | | 核医学検査技術学Ⅰ 核医学検査技術学Ⅱ | | 核医学検査技術学実習 | 核医学機能検査学 | | |
| (6)医用画像情報学コース 医用画像の成立に必要な画像形成理論を学習するとともに、医用画像の処理、解析及び評価についての手法を習得する。画像情報システムを含む医療情報システムの運用に必要な知識や臨床応用について学習する。 | | | 医用画像情報学Ⅰ 医用画像情報学Ⅱ | 医用画像情報学実験 | | | 総合画像技術学 | |
| (7)放射線治療技術学コース 放射線治療技術の基礎となる放射線生物学や放射線計測学、各種疾患における治療法、照射技術、基礎的な放射線医学、放射線治療の臨床まで総合的に学習する。 | | | 放射線計測学 | 放射線計測学実験 放射線治療技術学 放射線腫瘍学 | 放射線治療技術学実習 | 高度放射線治療技術学 総合放射線治療技術学 | | |
| (8)放射線安全管理学コース 放射線の安全管理のための放射線防護技術、放射線診療における品質保証の概念及び意義について学習する。 | | | 放射線安全管理学 環境と放射線 | | 放射線安全管理学実験 診療放射線品質保証管理學 | | | |
| (9)総合応用コース(放射線技術科学) 4年間の放射線技術科学の学修を総括し、医療人として必要なチーム医療ができる知識や技術及び態度を習得する。 | | | | | 診療放射線技術学実習 (臨床実習) | コロキウム 放射線技術科学研究 | 放射線技術科学総括演習 | |
| (10)IPEコース 多職種連携の意義、理念を理解し、保健・医療・福祉の場において、多職種との連携や相互補完、協働する態度及び能力を習得する。 | チームワーク入門実習 ※1 | | チームワーク演習 ※1 | | | | 多職種協働実習 | |
| | | | 国際多職種協働実習Ⅰ(1~4年前期) 国際多職種協働実習Ⅱ(1~4年後期) 地域多職種協働実習(1~4年) | | | | | |
| | ※1基礎科目 | | | | | | | |